

## 【 個人力 】

先日、FIFAワールドカップブラジル大会に出場する23名の選手と予備登録の選手が発表されました。みなさんはどういった気持ちでみられたでしょうか？選んだ瞬間に選ばれなかった選手が生まれてしまいます。監督の決断が選手たちのサッカー人生を大きく左右することになります。今回は選ばれていない選手でもいい選手はたくさんいるとみなさんも思っておられることでしょう。イラン大会に向けて日本代表選手を発表する時期が近づいています。できることなら皆、連れていきたいですが、それはできません。選ばれなければ失格の烙印を押された気持ちになる選手もいるでしょうが決してそうではありません。今後の全国大会を通じていい選手がいれば今後追加招集し入れ替えもありますので選ばれなくても次回に向けて努力を続けてください。サッカーはスタメン11人だけで戦うものではありません。特に海外で行われる長い期間の大会では、ベンチメンバーも含めたそれぞれが、それぞれの役割を全うする必要があります。選手は、たとえ代表チームだろうと、試合に出なければモチベーションを維持することは難しいです。むしろ、それぞれのチームでは主力を務める選手が集まる代表チームですから、その点はチームとしての最大の問題点となり得ます。しかし、ベンチの選手が誰よりも味方を応援し、いつか来る出番のために、全力で準備をする、そんな選手の姿を見ることで、他のベンチメンバーやスタメンの選手の意識は間違いなく高くなります。試合に出るときも出ないときも勝つために、チームが勝つために、自分に何ができるか、それだけを考えて行動してほしいと思っております。

5月茨城県合宿では日本代表候補が6年ぶりにフィールドテストを行いました。前回結果と比べまして今回結果レベルは上がっていました。これも日本ろう者サッカー協会の継続した強化活動と地域での地道な普及活動の成果だと思えます。今回11種目を行いまして各種目のベスト3は次のとおりです。「10m走①中島大②大西③綿貫」「30m走①福田②古島③綿貫」「50m走①福田②大西③古島」「垂直跳び①古島②福田③綿貫」「5段跳び①綿貫②木村③大石」「左ロングキック①菱岡②綿貫③平島」「右ロングキック①木村②千葉③土屋」「10m×5走①細見②江島③毛塚」「STEP50①古島②江島③福田」「ハードル①木村②中島正③綿貫」「マルチステージ①松本雅②仲井③江島」総合では①綿貫②木村③仲井④細見⑤大西でポジション別では①FW②DF③GK④MFの順番でした。自分の得意な部分をより伸ばして、苦手な部分を少なくし予測力を磨けばもっと個人力があがるでしょう。この合宿から新副主将に土屋祐輝、古島啓太を任命しました。主将の細見をサポートしチームの為に力を発揮していつてくれることを期待しています。代表合宿に参加したくても仕事や費用の関係で参加できない選手もおります。7月に行われます次回北海道代表合宿に選ばれた選手は喜びを忘れることなく、いい準備をし、選ばれなかった選手の分まで頑張ってください。